

ポフらだより

上田市立川辺小学校
学校だより特別号
令和7年11月26日
(文責：教頭)

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果報告

本年度4月17日(木)に全国の小学校6年生と中学校3年生を対象とした『全国学力・学習状況調査』が実施されました。本校の結果について報告します。

国語の結果と今後の学習について

全体的にはほぼ全国平均でした。内容では、「情報の扱い方に関する事項」と「書くこと」に課題があると思われます。問題別に見ると、「バスの運転手にインタビューすることを図にまとめて話し合ったことを記録する」問題で、まとめられた図が話し合った情報をどのようにまとめた図なのかを読みとることに苦勞していました。日頃から話し合いの場で図を活用する経験を増やす必要があると思われます。また、「書くこと」の問題では「ちらしの文章の構成や、調べたことを基に考えが伝わるように書く」内容で誤答が見られました。しかし、記述式の無回答が少ないことから、問題に粘り強く取り組もうとする意欲が感じられます。そこで、授業の中では、構成や内容を考えて書き表すことができるようポイントを押さえた学習に取り組んでいきます。

算数の結果と今後の学習について

全体では全国正答率をやや上回りました。領域別では、「データの活用」が全国正答率を下回りました。ハンドソープが空になるまで何プッシュするかを求めるために、伴って変わる二つの数量に着目し、必要な数量を見出したり求め方を式や言葉で説明したりする問題でつまずきが見られました。全体を1回分でわるとプッシュ回数が出るという関係性が見いだせなかった児童が多かったと思われます。授業では、身近な事柄を題材にして問題解決に取り組む等、習得した知識を実生活の様々な場面で活用する力を養っていきます。

児童の生活や学習習慣に関する質問（児童質問紙）について

「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を選んだ児童が86.5%いました。授業や様々な活動、友だちとの関係ではおおむね満足しているとみることができます。

「自分には、よいところがあると思いますか」「人が困っているときは、進んで助けていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「普段の生活の中で幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」という項目で多くの児童の皆さんが「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えており、自己肯定感や自己有用感、協働的な姿勢をもって生活できていることがうかがえます。学習は、単なる知識の積み上げでは活用できません。学んで得た知識を活用していくためには、心の安定が何よりも重要だと考えます。引き続き、このような児童の意識につながるよう取り組んでまいります。

これからの時代を豊かに生き抜く子どもたちの力を育むために

全国学力・学習状況調査は、児童の学力や学習状況を把握・分析して、学校における学習状況の把握と指導方法の検証・改善につなげることを目的としています。

急激に変化する時代の中を生き抜く子どもたちです。そんな時代を自分のよさや可能性を認識し、多様な人々の価値を尊重しながら協働的に様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる子どもたちの学力の定着と向上が図られるよう、本校では、学年の発達段階に応じながら次のように学校全体で、継続的に授業改善に努めていきます。

1 安心して学ぶことができる授業のために

- ①誰もが安心して学ぶことができるために、「一時間の授業の中の学習の流れ、めあて、まとめ、振り返り」が分かるような黒板の書き方や、短く分かりやすい指示で、「分かりやすく」「見やすく」「あたたかい」支援のある授業づくりに努めます。
- ②1時間の授業の流れやゴールを示して、子どもたちが見通しをもって学習に取り組めるようにします。

2 読みとる力・書く力の向上のために

- ①タブレットを書く活動に積極的に取り入れていきます。タブレットの利用で書くことへの抵抗を軽減し、校正の負担も少なくすることで、子どもたちが学習に取り組みやすくしていきます。
- ②タブレットの活用と並行して、新聞や辞書を活用し、内容理解や感想を文章にまとめる活動を通して語彙を増やします。また、タブレットへの記録だけではなく、ノートや学習プリントに書いてまとめることも大切に取り組みます。

3 問題場면을イメージし、物事を分かりやすく関連させながら説明する力の育成のために

- ①問題場面や考えたことを具体的にイメージするために、絵や図で表す活動を様々な教科で取り入れます。
- ②自分の考えを聞き手に分かりやすいように図や絵などの資料、言葉を用いながら説明する活動を授業に位置付けます。

4 情報活用能力を高めるために（ICTの活用）

- ①タブレットを様々な場面で活用していきます。体育では動画を撮って動きを確認したり、国語で音読を撮って自分の読み方を確かめたり、プレゼンテーションを使って発表したりしていきます。また、ロイロノートやキャンバ等アプリやツールを授業に取り入れていきます。

5 学習したことの復習・定着のために

- ①朝活動に「ドリルの時間」と位置付け、学習の復習やつまずき箇所の練習、ドリル学習などを行います。
- ②映像機器やタブレット端末を用いて、視覚的にイメージをもちながら、分かりやすい学習を進めます。

（ご家庭へのお願い）

- ③引き続き、ご家庭でも子どもたちの主体性を大切にしながら学習が定着するように、言葉がけをお願いします。